



### 第三十四章

## 聖域との境目で

「子供の頃住んでいた家の近所にこんなのあったなあ〜と、「せいくらべ」の石碑を眺めながら夫が言った。熊本県の青井阿蘇神社を訪れた時のことだ。

夫は石碑の前に立ち、自分の身長と比べたり、横に並んで手を頭の上に乗せ、私にも「見て!」と言うような仕草を見せたりしている。「あの頃は一番上の数字まで背が伸びるのに、いったいどのくらいかかるんだろう? なんて思ったなあ〜」。

見上げるほどの高さがあった石碑が、今は夫とほぼ変わらない。感慨深げな夫の様子を見ていたら、私自身の中にもそれに似た想いが込み上げてきた。が、次の瞬間、そんな気分を一瞬でクラッシュさせる夫の一言が…「こういう石碑の、横バージョンってないのかな?」。(おいおい!)

最近太ってきたことを気にしている、夫ならではの発想。確かに検診でも「メタボ予備軍」と診断されていたが…。

突然、浸っていた感慨にストップをかけられ、持って行き場のなくなった私の気持ちはどこへ? 相手にするのもバカらしく思えて「ンなもん、知るか!」と捨てゼリフを残し、私は先へと急いだ。

青井阿蘇神社の境内には、本殿のほか、大神宮や宮地獄神社、青井稻荷神社などの建物や、蓮池、神橋があり、崇高な雰囲気を作り上げている。そんな「神の区域」の入り口、楼門の脇でのおバカなやり取り。門をくぐることにすためられる。なのにふと(アレ? 身長を測る石碑が「せいくらべ」なら、横幅を測る石碑は何て言うの?) などと一層しようもないことが頭に浮かび、(ヤバイ、早く清めてもらわねば!!) と、私は慌てて境内へと駆け込んだ。

#### Profile

尾形正茂 株式会社シェルパの代表であり、カメラマンとして広告や雑誌の他、CDジャケットやグラビアなどに携わり日々格闘中。

尾形 操 平成17年よりフリーとして独立。現在はMacによる広告などのレイアウト・デザインに携わり日々格闘中。

シェルパホームページ

▶ <http://www.sherpa-jp.com>

# 1都1道2府43県〇—期—景

photo: Masashige Ogata, writing & layout: Misao Ogata

